

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料



日本高純度化学株式会社

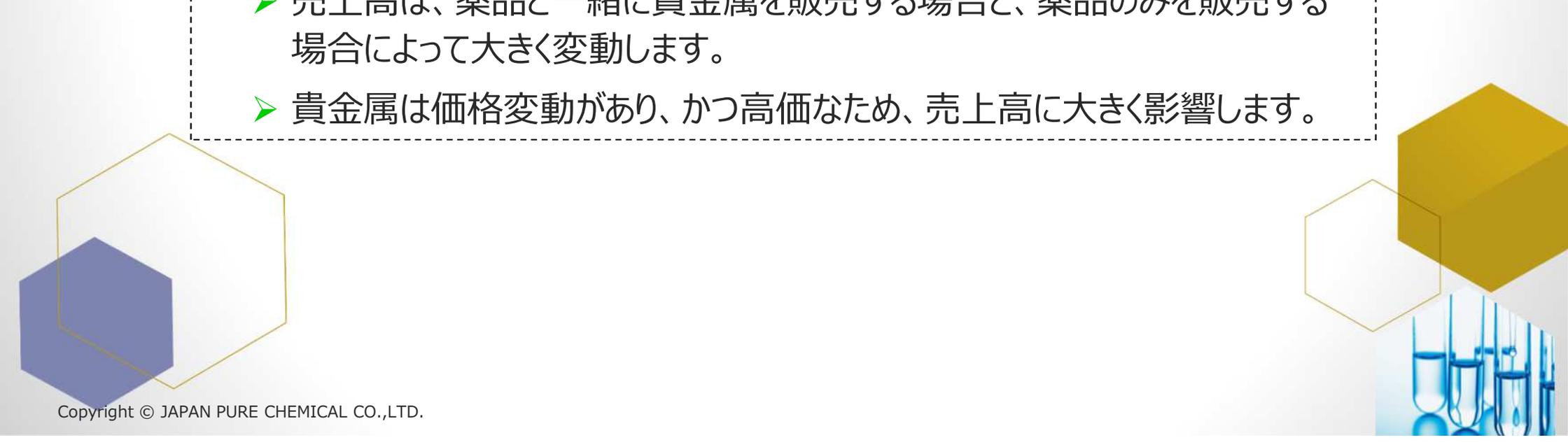
証券コード：4973

2025年7月25日



決算の概況

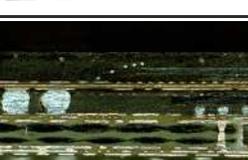
(注) 当社業績の見方のポイント

- 売上高は、薬品と一緒に貴金属を販売する場合と、薬品のみを販売する場合によって大きく変動します。
 - 貴金属は価格変動があり、かつ高価なため、売上高に大きく影響します。
- 

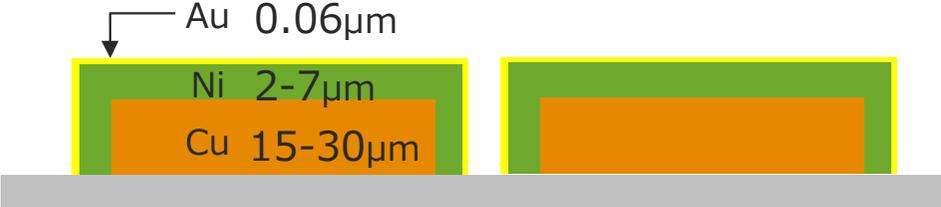
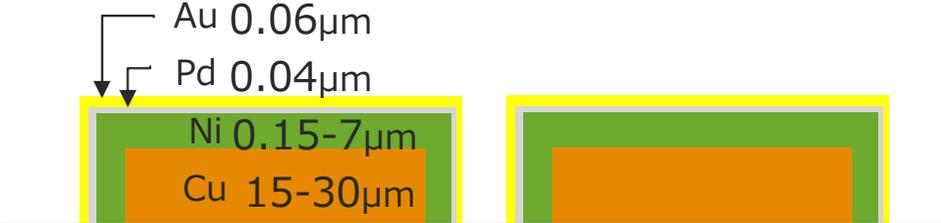
めっき方式の説明

用語	最終用途	説明
電解めっき	—	金属などの表面に電気を流してめっきする方法
純金めっき	PC・スマホ等のプリント基板（CPU・GPU等）	高純度な純金めっき
硬質金めっき	スマートフォン・車載・産業機械等のコネクタ	合金成分を入れて硬くした合金めっき
パラジウムめっき	PC・車載・産業機械等のリードフレーム	金めっきの下地めっきとして使用される
無電解めっき	—	電気を流さず化学反応によりめっきする方法
置換金めっき	DRAM・NAND等の半導体メモリ サーバー・PC・スマートフォン等の半導体搭載基板	金属ごとの溶けやすさ（イオン化傾向）を利用し、下地金属の表面を置き換えて形成するめっき方法
還元金めっき	半導体搭載基板 サーバー・PC等のCPU・GPU等	還元剤による化学反応を利用し、厚く形成できるめっき方法
還元パラジウムめっき	サーバー・PC等の半導体搭載基板	還元剤による化学反応を利用し、厚く形成できるめっき方法（金めっきの下地として使用される）

製品ラインアップ

めっき方式		用途	製品ラインアップ	
電解	純金		① 粗面上でも均一な膜厚が得られる純金めっき ② 硬度の高い純金めっき	テンペレジストシリーズ
	硬質金		マイクロコネクタ用省金硬質金めっき	オーロブライト BAR7
	パラジウム		PPF用薄膜パラジウムめっき (PPF: Pre Plated Lead frame)	パラブライト NANO2
無電解	置換金		中～高リンニッケルで使える置換金めっき 下地ニッケルの腐食が少ない置換金めっき ニッケル不使用置換金めっき	IM-GOLD IB2X IM-GOLD CN IM-GOLD PC
	還元金		亜硫酸金を使った薄膜還元金めっき シアン化金を使った薄膜還元金めっき	HY-GOLD HY-GOLD CN
	還元パラジウム		ENEPIG用還元パラジウムめっき ニッケル不使用還元パラジウムめっき	ネオパラブライト 2 ネオパラブライト DP
周辺分野			卑金属（銅、スズ、ニッケル）、合金めっき、後処理剤など	

めっきプロセスの説明

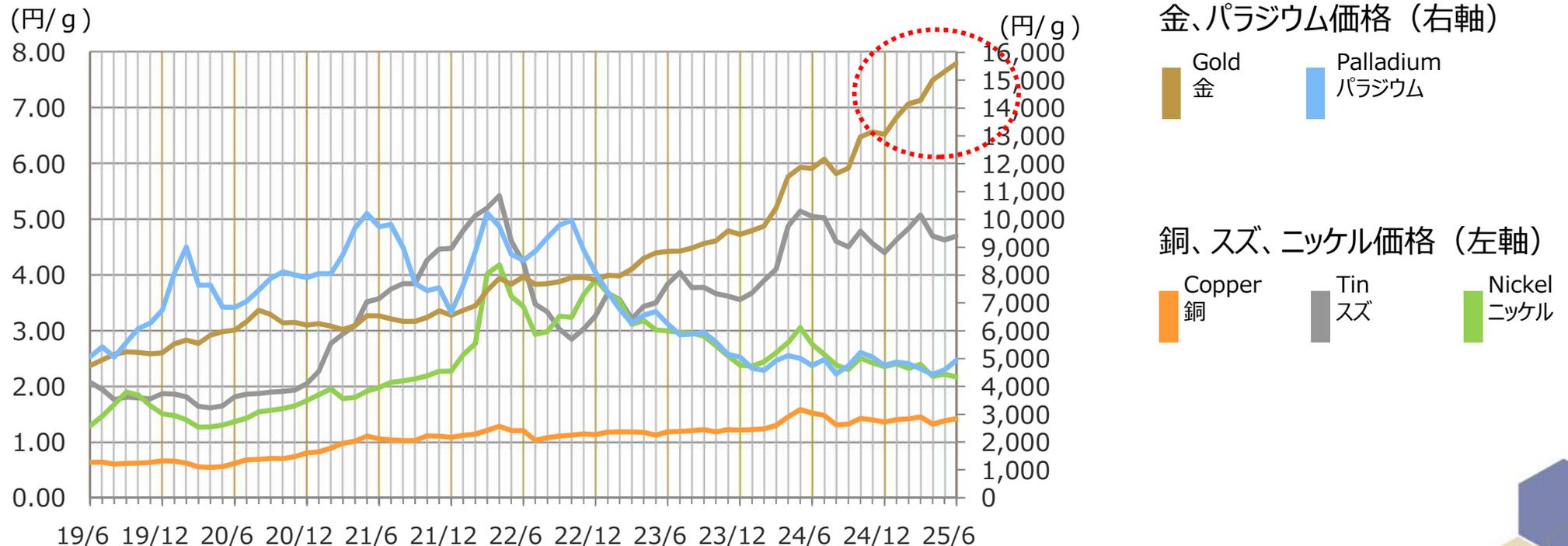
用語	説明	めっき層構成
ENIG	銅上に無電解ニッケルめっき及び置換金めっきをする方法。 層構成はCu-Ni-Au Electroless Nickel Immersion Goldの略	 <p>Au 0.06µm Ni 2-7µm Cu 15-30µm</p>
ENEPIG	銅上に無電解ニッケルめっき、無電解パラジウムめっき及び置換金めっきをする方法 薄ニッケル化の動きが進んでいる。 層構成はCu-Ni-Pd-Au Electroless Nickel Electroless Palladium Immersion Goldの略	 <p>Au 0.06µm Pd 0.04µm Ni 0.15-7µm Cu 15-30µm</p>
DIG	銅上に置換金めっきを直接する方法。Niめっきを省いているためENIGに比べファインピッチ対応が可能。 層構成はCu-Au Direct Immersion Goldの略	 <p>Au 0.06µm Cu 15-30µm</p>
EPIG	銅上に無電解パラジウムめっき及び置換金めっきをする方法。 層構成はCu-Pd-Au Electroless Palladium Immersion Goldの略	 <p>Au 0.06µm Pd 0.04µm Cu 15-30µm</p>

2026年3月期 第1四半期外部環境

電子部品業界の状況

- 生成AI向けの旺盛な需要に牽引されAIサーバ/データセンター向けは好調に推移したが、米中貿易摩擦の影響によりスマートフォンやパソコンなどの民生向けは需要回復に足踏み感がみられ、FA機器などの産業機器向けは在庫調整の継続により低調に推移
- 車載用電子部品については、先進運転支援システムなどの電装化による緩やかな需要増はあったが、電気自動車の成長鈍化による在庫調整の影響を受けて需要は伸び悩む

貴金属の概況



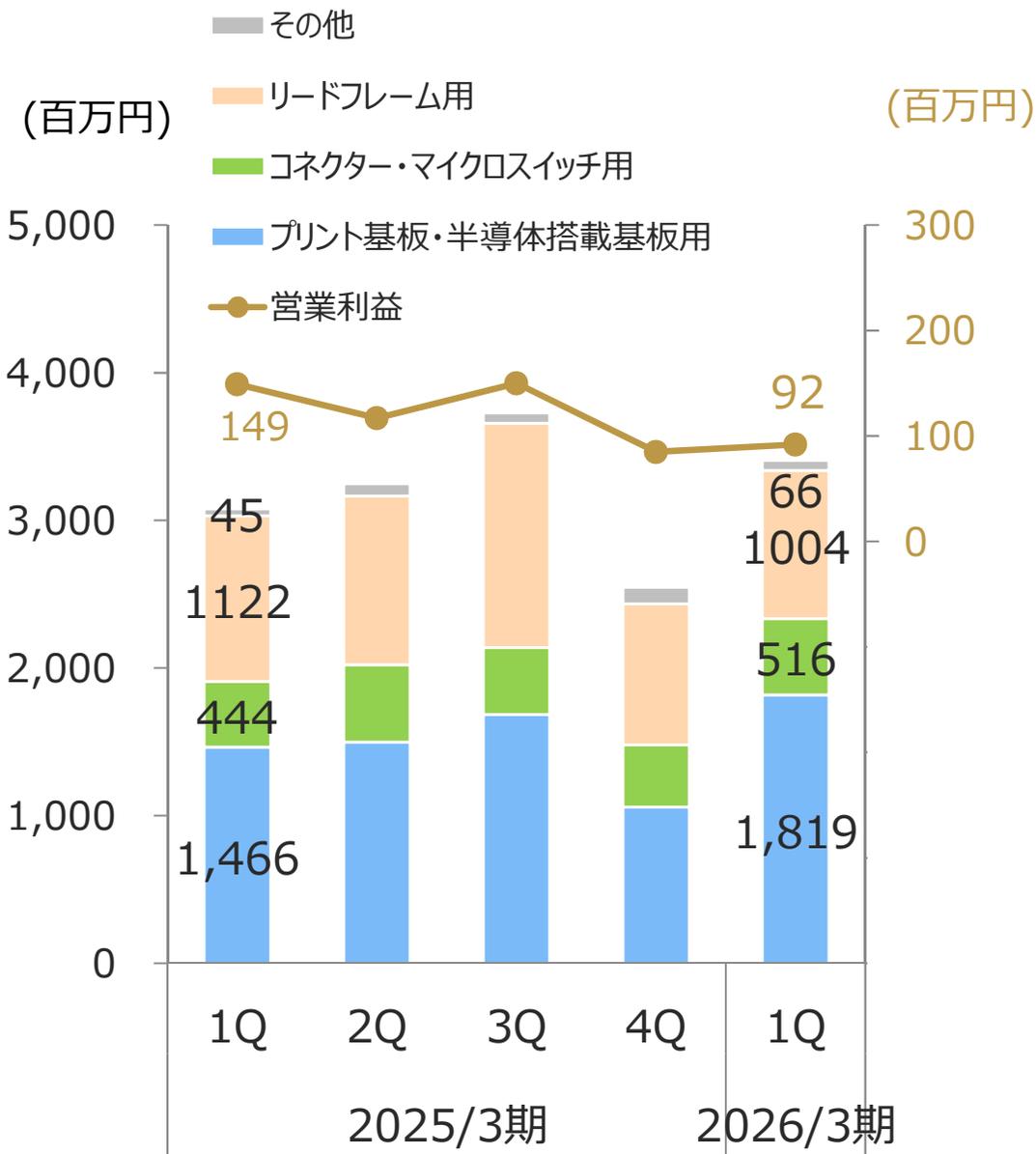
2026年3月期 第1四半期決算概況

当社の決算概況：増収減益

- 売上高：米中貿易摩擦の影響や、産業機器向け・電気自動車向けの在庫調整などの影響により販売量は伸び悩んだものの、貴金属価格の上昇により前年比+10.7%増収
- 営業利益：販売量の伸び悩みに加え、人的資本への積極投資の影響で前年比△37.8%の減益

(単位：百万円)	2025/3期	2026/3期			
	1Q	1Q	増減率	年間予想	第一四半期進捗率
売上高	3,079	3,406	+10.7%	14,000	24.3%
営業利益	149	92	△37.8%	510	18.2%
経常利益	241	184	△23.6%	670	27.5%
四半期純利益	271	135	△50.2%	500	27.0%
1株当たり 四半期純利益	47.09円	23.40円	—	—	—

売上高・営業利益の推移

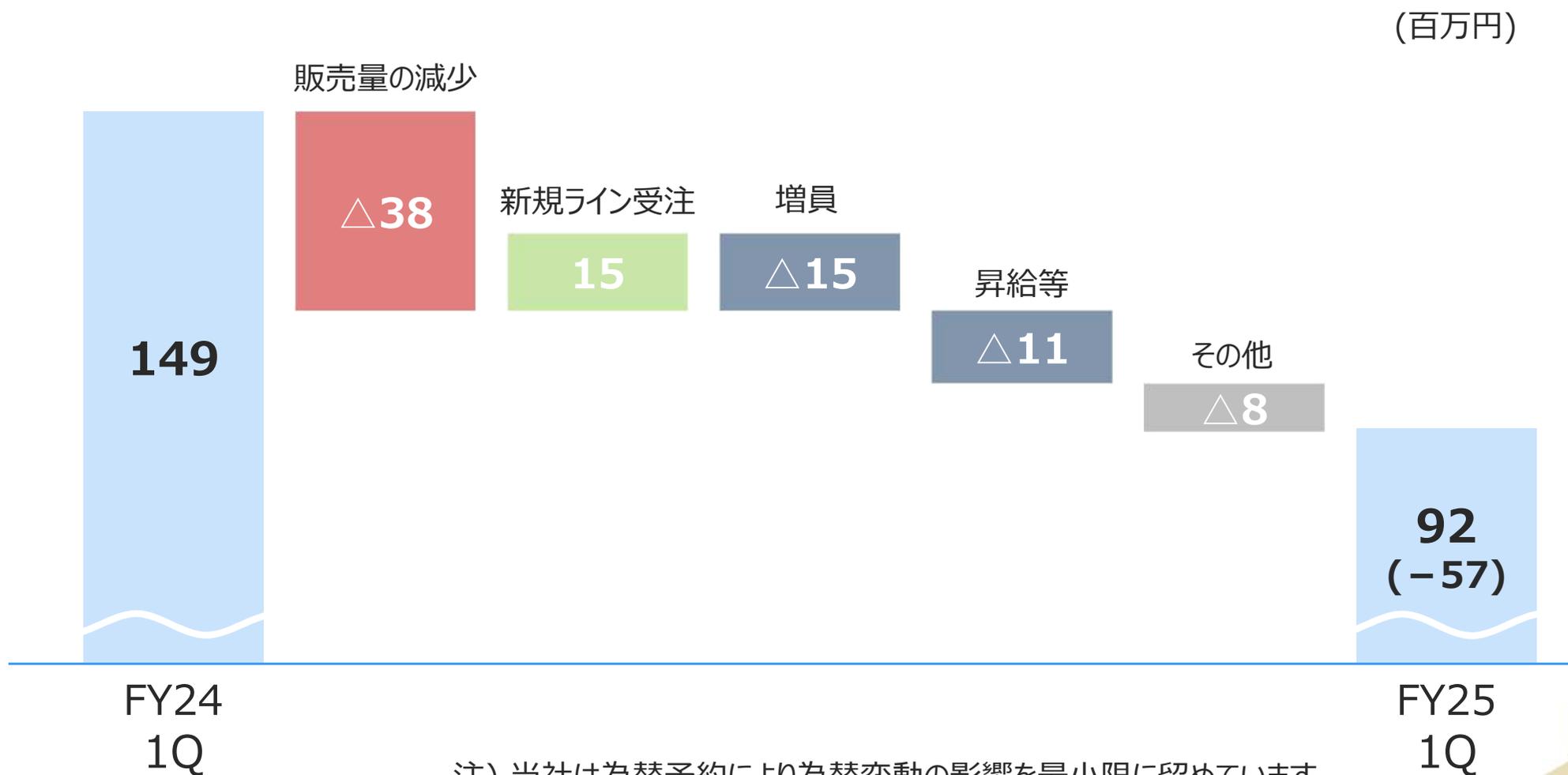


カテゴリ別概況（前年同期比）

- プリント基板・半導体搭載基板用めっき薬品
スマートフォンやパソコンなどの民生向け、およびメモリ向けは伸び悩んだが、生成AI関連の半導体パッケージや光通信モジュール向けは好調に推移し増収
- コネクタ用めっき薬品
スマートフォン向けで足踏み感が見られたが、車載向けと産業機器向けで回復の兆しがみられ増収
- リードフレーム用めっき薬品
民生向けで底堅く推移したが、車載向けで在庫調整の影響を受け低調に推移し若干減収

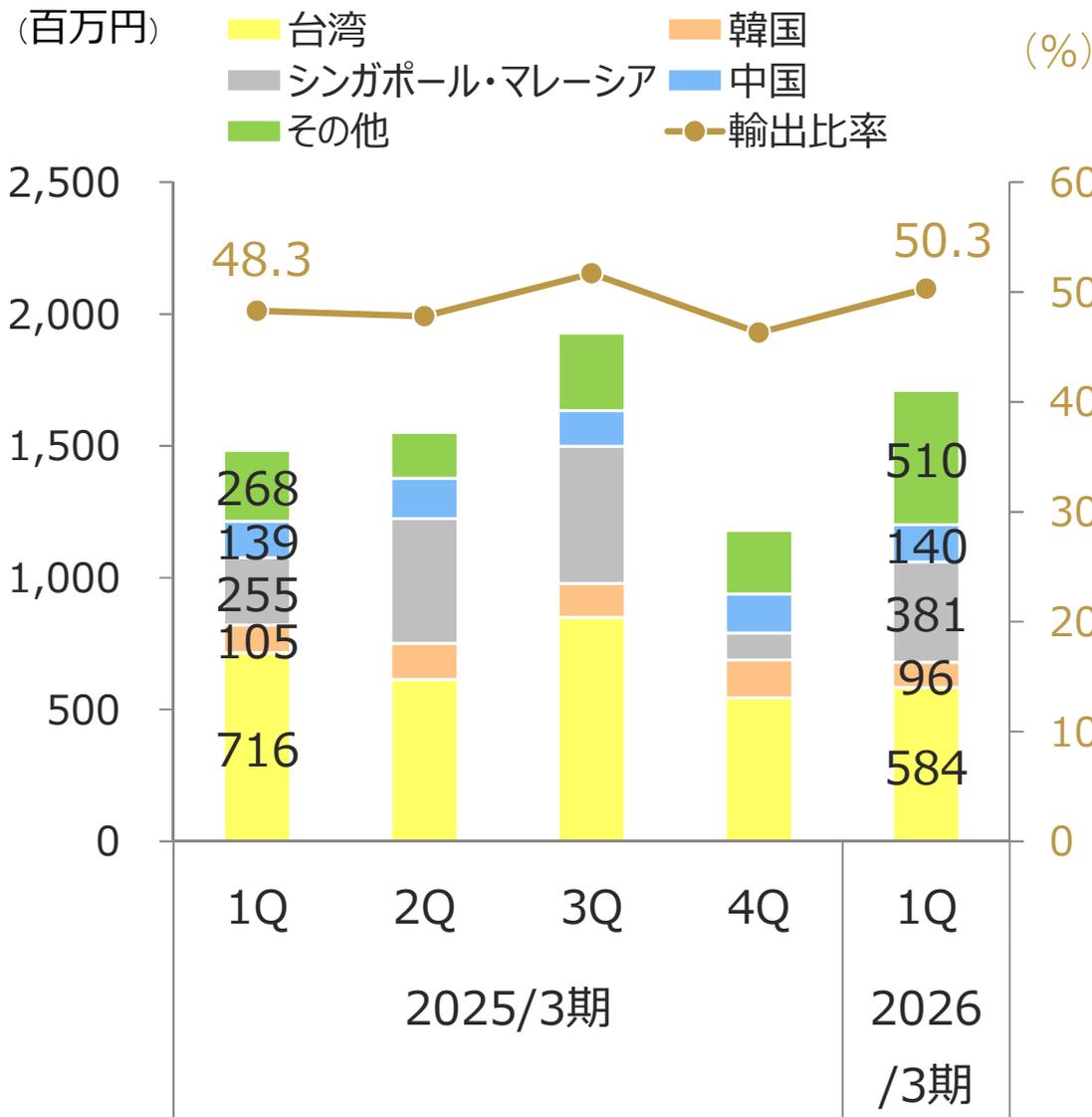
営業損益増減要因（前年比）

- 米中貿易摩擦の影響や、産業機器向け・電気自動車向けの在庫調整などの影響により販売量が減少した一方、新規ラインの受注もあり、結果として前年比で23百万円の減益
- 中期経営計画に掲げた各種施策の着実な実行に向け、人的資本への先行投資を積極的に推進



注) 当社は為替予約により為替変動の影響を最小限に留めています。

輸出地域別売上高の推移（四半期ベース）



増減理由（前年同期比）

- 台湾
AIサーバ向け光通信モジュール、民生向けリードフレーム用途が堅調、車載向けが在庫調整の影響により減収
- シンガポール・マレーシア
パソコン/サーバ向けパッケージ用途の需要増
- その他
フィリピンにおけるパソコン/サーバ向けパッケージ用途の需要増

2026年3月期 見通し

- サーバ/データセンター向けは、生成AI向けの旺盛な需要増に引き続き支えられ、好調な推移を想定
- スマートフォンやPC等の民生向けは、緩やかながらも需要回復を見込む
- 車載向けは電気自動車の需要鈍化による在庫調整長期化の懸念
- 産業機器向けは一部に回復の兆し
- 米中貿易摩擦の影響もあり販売計画に遅れ
- 下期に向けて新規案件獲得活動を継続し、通期見通しは据え置く

(単位：百万円)	2025/3期	2026/3期	前期比
	売上高	12,611	14,000
営業利益	502	510	+1.5%
経常利益	657	670	+1.9%
投資有価証券売却益	1,512	未織込	—
当期純利益	1,579	500	△68.3%
配当	126円	126円	+0円
ROE	11.3%	3.7%	—
DOE	5.2%	5.4%	—

政策保有株式売却の進捗

- 当社は政策保有株式について、中期経営計画 FY2025-2027の期間中に純資産割合を20%未満に縮減する方針を掲げています。
- 上記方針に沿って、今年度においても売却を進めてまいります。最新の見通しにつきましては、2025年7月25日公表の「投資有価証券売却益(特別利益)の計上見込みに関するお知らせ」をご覧ください。

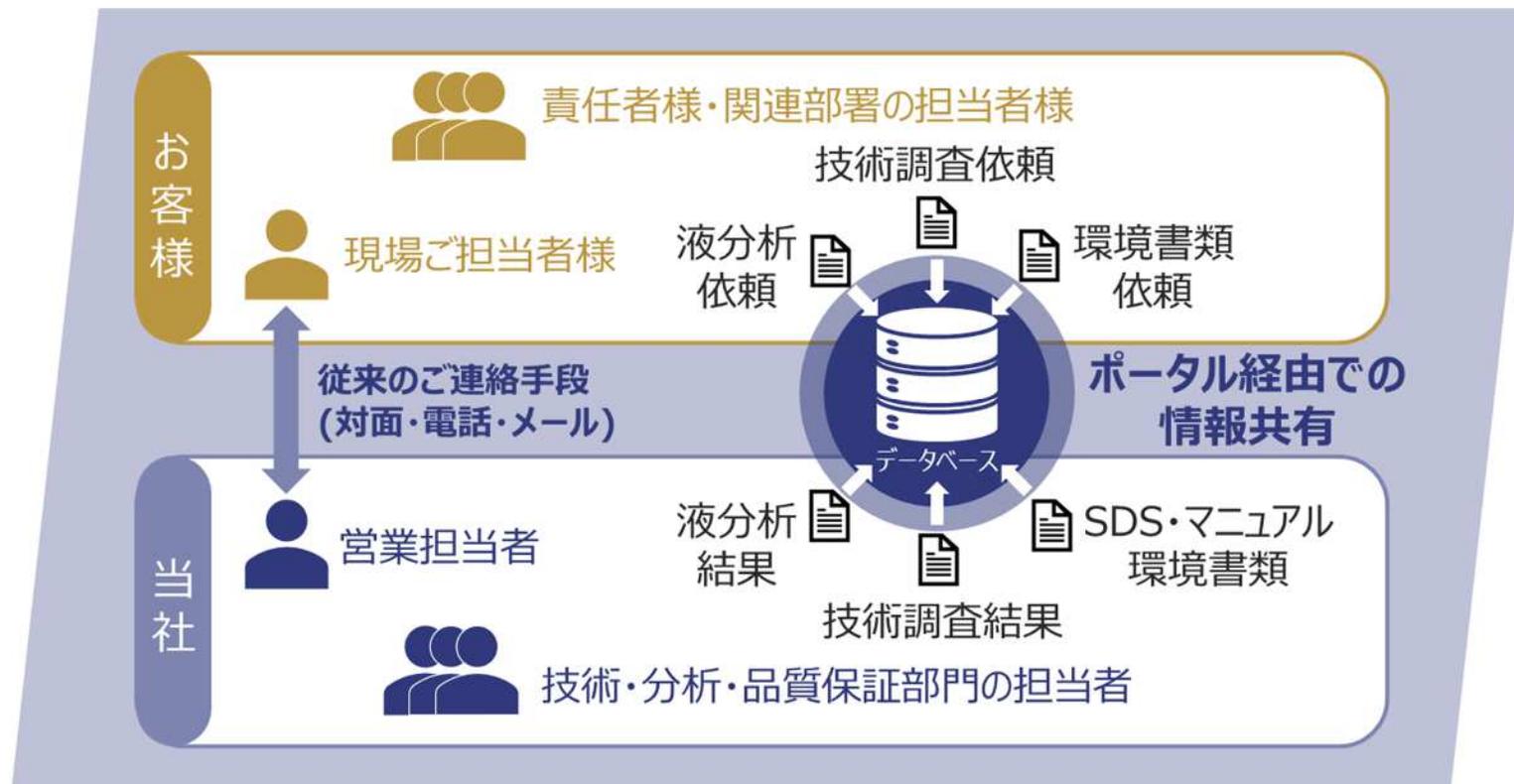
	2024年 3月末	2024年 6月末	2024年 9月末	2024年 12月末	2025年 3月末	2025年 6月末
売却額 ※ (百万円)	307	142	752	553	275	—
保有株式時価 (百万円)	8,796	9,069	7,236	7,108	5,974	6,740
純資産額 (百万円)	14,537	14,683	14,052	14,149	13,594	13,891
純資産に対する割合 (%)	60.5	61.8	51.5	50.2	43.9	48.5

※ 該当四半期中での売却額

ポータルサイト「J-PLAT*」の開設に関するお知らせ

*商標登録出願中

- 「J-PLAT*」は、当社(JPC)の総合プラットフォーム(Platform)とめっき技術(Plating)に由来する、めっき薬品に特化した専用ポータルサイトです
- 現場の技術者から管理者まで、気軽に“ぷらっと”訪れたくなるような、活気ある情報交換の場となることを目指しています
- めっき管理に関するあらゆる情報を一元化し、リアルタイム共有にて業務の透明性と効率性を飛躍的に向上させます



ホーム ライン グラフ 液分析依頼 液分析依頼照会 技術サービス依頼 技術サービス結果照会



機能

専用ページ	お客様ごとのカスタマイズされたページで個別ニーズに対応
分析診断	めっき液の分析結果をリアルタイムで共有、過去データ解析によりプロセス最適化と品質安定化を支援
データ共有	技術資料やマニュアルをオンラインで共有、業務効率化を支援
チャット機能	専用チャットで円滑なコミュニケーション
多言語対応	日本語・英語・中国語のグローバル対応
セキュアな基盤	Salesforce採用で高い安全性と信頼性

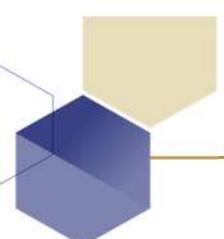
補足資料：会社紹介

沿革

- 1971年 7月 会社設立
- 1999年 11月 MBOを実施
- 2002年 12月 JASDAQ市場に上場
- 2004年 3月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年 3月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2019年 2月 一般財団法人JPC奨学財団設立
- 2020年 4月 公益財団法人JPC奨学財団に認定
- 2022年 4月 東京証券取引所プライム市場に移行

事業概要

- 電子部品業界の発展を支える電子材料を供給するファインケミカル企業
- 事業のターゲットを貴金属めっき薬品に絞り世界シェアトップクラス
- 変化の激しい業界にスピーディーに対応できる販売体制と技術サポート体制を構築
- 大規模な製造プラントを保有しないファブライツ企業
- 電子部品の接続に用いる貴金属の使用量を最小限に抑える技術を提供し、資源の有効利用に貢献



注意事項・免責事項

当該資料で用いられている業績予想ならびに将来予測は、いずれも当社の事業に関連する業界の動向についての見通し、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績へ影響を与える要因について、2025年6月末時点で入手可能な情報をもとにした予想を前提としています。

これらは、市況、競争状況、新製品およびサービスの導入およびその成否、ならびに情報通信関連産業の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。よって、実際の業績は配布資料および決算説明で用いる予想数値とは、大きく異なる場合があることをご了解いただきますようお願い致します。

この資料の著作権は日本高純度化学株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

お問い合わせ先

TEL. 03-3550-1048 FAX. 03-3550-1006

経営企画部

<https://www.netjpc.com>